

何が秘密か、
それも秘密

秘密保護法 は廃止を!

12月6日深夜、1万5000人もの人びとが国会前に
駆けつけました。「廃案に!」「強行するな!」という声を無
視し、自民・公明政権は秘密保護法案を強行可決。数の
暴力で、憲法をふみにじる暴挙は絶対に許されません。

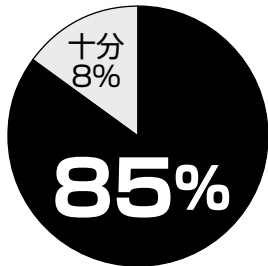
日本共産党

ジャーナリスト、弁護士、学者、映画人…。 国民の不安と怒りはさらに広がっています

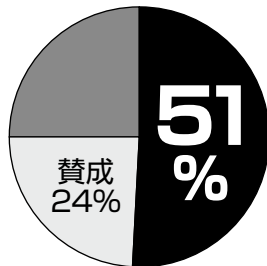
秘密保護法案にたいして、日本弁護士連合会、ペンクラブ
などの団体とともに、ジャーナリストの鳥越俊太郎さん、田原総
一郎さん、作家の澤地久枝さん、雨宮処凛さん、映画監督の
山田洋次さん、女優の吉永小百合さん、大竹しのぶさんなど、
これまでにない幅広い方がたが「反対」の声をあげました。

ノーベル賞を受賞した白川英樹さん、益川敏英さんなど著
名な学者がよびかけた「秘密保護法に反対する学者の会」
は、賛同者がどんどん広がり3500人を突破。法案成立後も、
国民の怒りはますます高まり、廃止をもとめる運動が広がっ
ています。

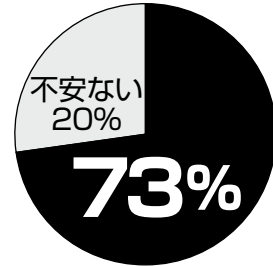
国会での議論は不十分 秘密保護法に反対 「知る権利」侵害に不安



JNN 調査 (7、8日実施)



「朝日」調査 (7日実施)



NHK 調査 (6~8日実施)



日本共産党は、国民と共同し、 悪法撤廃までがんばります

6日深夜の参院本会議。民主党が議場を退席するなかで、日本共産党だけが反対討論に
たち、最後まで悪法強行に対決して、たたかいぬきました。

「安倍政権のこの暴挙は、かならず国民と歴史によって裁かれます。今日を新たなスタート
にして、憲法違反の秘密保護法撤廃のたたかいに立ち上がろうではありませんか」——志位
和夫委員長は、強行可決された直後の党国会議員団総会でこう決意を表明しました。

秘密保護法 憲法違反の正体(ハッキリ)

夏の参院選で躍進し、大幅に質問時間がふえた日本共産党は、徹底した討論で自公政権を追及。秘密保護法案が、国民の知る権利、表現の自由をはじめ、憲法をことごとくふみにじる悪法であることをうきぼりにする論戦をくりひろげました。

「共産・仁比氏の『警鐘』に議場拍手」
(「毎日」2013年11月28日付)

「『同僚議員の皆さんに警鐘を鳴らしたい。この法案は国会議員をも処罰対象にしている。巨大な行政権力・官僚機構に断固迫ってこそ、国会議員ではないのか』。議場への呼びかけに、野党席を中心に大きな拍手が起きた」

秘密の範囲はいくらでも広がる

“原発情報も、テロ対策なら秘密になる”(首相)——秘密の範囲は、すべて政府の一存で決められ際限がありません。しかも、何が秘密かは、国民には知らされません。なんの歯止めにもなりません。

国民の「知る権利」をじゅうりんする秘密保護法は、国民主権の原理をふみにじるものであり、憲法違反です。

いったん決めれば永遠に秘密に

みんな、維新との“修正”で、秘密期間は30年から60年に延長。しかも、例外項目は対象外で半永久的に秘密に——政府にとって都合の悪い情報は、永久に国民の目から隠されます。

「核密約」を隠し通してきた自民党政権。秘密保護法は、その秘密体質をいっそう強化するだけです。

表現の自由、知る権利を侵害

理由も示さず逮捕できることに

“反対デモもテロにあたる”(自民幹事長)——“一般国民は処罰の対象とならない”というのは真っ赤なウソです。

しかも、国民は何の罪で逮捕されたか知らされず、裁判で弁護人にも秘密のまま…。こんな暗黒社会の到来を許してはなりません。

プライバシーを根こそぎ調べる

交友関係、病気、飲酒、借金…。特定秘密にたずさわる公務員本人はもちろん、家族、親戚、友人・知人まで徹底して調べ上げられます。そのうえ、国から事業を受注して秘密の提供をうけた民間企業やその下請けで働く労働者まで対象になります。



世論の力で廃止に 日本共産党

特定秘密保護法の 撤廃を求める請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願事項】

特定秘密保護法を
撤廃すること

氏名	住所